

2018年11月7日（水）

後期友愛会 保健部会「応急救護名人になろう！」

今週5日（月）、養護（保健室）の教育実習生と一緒に、応急救護について学ぶ活動を行いました。目の前の担架にみんなドキドキ。「ここに寝るのは、ケガをしたり、具合が悪い人だからね。みんなが心を一つにして担架を持たないと、斜めになって落ちちゃうよ。持ち上げる時も、下ろす時も、寝ている人がびっくりしないように優しくね。」と、声をかけると、子どもたち同士で声を掛け合いながら担架を体験。

うまくできるようになったところで、やはりみんな気になる・・・。

「〇〇先生を運びたい！」

待っていました！とばかりに、保健部会の〇〇先生がシートの上へ。画像にもありますが、これも立派な担架です。200kg以上の重さに耐えられるので、〇〇先生も安心！練習の成果もあり、見事成功。

その後は、クイズ形式で応急処置を学びました。養護としても、頼もしい助っ人誕生です。

やっぱり大きい
なあ・・・。



待っていました！

さっきやったことを
思い出してね

心臓が動い
ているか確認





みんなで力を合わせて
無事成功！



捻挫（ねんざ）をしたとき

1. まずは温め、マッサージをする。
2. まずは氷で冷やし、できる限りうごかさないようにする。

☆痛めた時に自分でさすった経験がある＝マッサージが結びついて、意外と1番と答える児童が多いのですが、正解は2番です。

